

平成16年保育士試験問題

社会福祉

(選択式20問)

注意事項

- 1 指示があるまで開かないこと。
- 2 解答用紙について
 - (1) 鉛筆(HB又はB)を使用し、濃く、はっきりとマークすること。
 - (2) 受験番号・氏名(漢字・カナ)・生年月日を記入し、受験番号が正しくマークされているか確認すること。(正しくマークされない場合、採点されないことがあります)
 - (3) 各問に対し、2つ以上解答したときは誤りとする。
 - (4) 解答は次の例にならってマーク(記入)すること。
(例) 問5の解答が、3であれば解答用紙を
問5 1 2 3 4 5 マークすること。

良い解答の例 … (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

悪い解答の例 … (解答したことになる)
 - (5) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないよう完全に消すこと。
 - (6) 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう注意すること。

問1 社会福祉の主体に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 社会福祉の政策主体として国は、最低限度の生活の保障に公的な責任をもつ。
- B わが国では、今日政策提言する市民組織の隆盛や、社会福祉計画策定段階での住民参画が推進されるなど、政策主体の考え方に大きな変化がみられる。
- C わが国では、社会福祉の地方分権化がすすみ、地方公共団体は従来以上に福祉政策の主体としての役割を担っている。
- D 社会福祉の実践主体は当事者や特定非営利活動法人であって、行政あるいは専門職は実践主体とは言いがたい。
- E 社会福祉の運動主体として地域住民は、未充足の福祉ニーズの対策を求めて制度化に向けた運動を展開する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	○	○	○	×	○
3	○	×	○	○	×
4	×	○	○	×	○
5	○	×	×	○	○

問2 わが国の江戸時代以降の社会福祉史に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 江戸時代には、農村を中心とする伝統的な共同体では、さまざまな種類の相互扶助体制が整備され、一定の成果をあげた。そのなかでも特に、「ゆい」などの共同労働組織や、「講」などの互助組織が発展し、生産と生活の全般にわたって相互に助け合った。
- B 明治時代には、明治7年(1874年)に公布した「恤救規則」という救貧対策があったが国家の義務という考え方は乏しく、民間の社会事業家に頼らざるを得ない状況だった。その社会事業家の中でも、石井十次の岡山孤児院は、現代の児童養護施設の先駆として名高い。
- C 大正時代には、内務省の中に失業救済、児童保護その他の社会事業を行う部局ができ、法令上も社会事業という言葉が明記されるようになった。
- D 昭和4年(1929年)に制定された「救護法」によって、無差別平等の救護が実現し、相互扶助に頼らない社会保障が確立した。
- E 昭和25年(1950年)に現行の「生活保護法」が施行され、保護請求権も確立した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	○	○
2	○	○	○	×	○
3	○	○	○	×	×
4	×	○	○	○	○
5	○	×	×	○	○